

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立杉戸高等学校 】

1 実践テーマ	【 II・III・V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 941名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (あり方・生き方教育)</p> <p>② 行事名 (トップアスリート講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 (ボランティア清掃・小学校との交流事業)</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・東京オリンピック・パラリンピックへの関心を深め、スポーツに参加する・観る・支えるという観点から、自ら進んで社会に貢献しようとする力の育成、また自らの生き方を考えさせる機会にしたい。</p>
5 取組内容	<p>・実践その1 DVD視聴 (1学年317人対象)</p> <p>① 夢に向かって 車いすアスリートの挑戦 副島正純選手</p> <p>② NHKスペシャル ふたりならもっと強くなれる「絆」で目指す世界の頂点</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 1368 746 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">教室掲示用</p> <p style="text-align: center;">オリンピック・パラリンピック推進事業</p> <p style="text-align: center;">あり方・生き方教育</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">生き方の価値観を知る</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">日時 9月12日(木)6時限目</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">場所 剣道場</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">DVD 視聴</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">～夢に向かって～車いすアスリートの挑戦 副島 正純</p> <p style="font-size: x-small;">副島さんが、なぜオリンピックを目指すのか。事故の後遺症で体が動かないという現実を突き付けられ、どん底に落ちた彼が、なぜ陸上競技と出会ったのか。当たり前と思っていた日常はあたりまででないこと、自らが頑張ることで周りに勇気を与え、また自分も勇気を与えられる。パラリンピックという最高のステージに向かって、応援したくなる選手である！</p> </div> <div data-bbox="767 1368 1177 1917" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">教室掲示用</p> <p style="text-align: center;">オリンピック・パラリンピック推進事業</p> <p style="text-align: center;">あり方・生き方教育</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">生き方の価値観を知る</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">日時 9月12日(木)6時限目</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">場所 剣道場</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">DVD 視聴 NHKスペシャル</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">～ふたりならもっと強くなれる「絆」で目指す世界の頂点～</p> <p style="font-size: x-small;">目が見えない世界、想像がつくでしょうか？ まっすぐ歩くことすらイメージができない私たちですが、主人公2名は、100mを11秒台で走り、フルマラソンを走りぬくという。それらを達成するために伴走者の存在は大きい。無限の未来に向かって努力し続けること、また誰かのために努力をし、ともに成長していく競技者の顔です。</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">DVD 視聴をしながら、心にとめておきたい言葉、感動した場面についてなどメモを取らせた。その後グループになり、それぞれの考えや価値観に触れ、寛容に受け入れられるような機会を作った。</p>

• **実践その2** 地域活動（ボランティア清掃）

7月10日、280名が参加して地域の清掃を行いました。
3月にも実施予定。



地域の支えがあって活動ができること、報徳の思いを込めて。

• **実践その3** 近隣小学校との交流事業（杉戸第二小学校）

空手道部⇒5・6年生と運動会前日準備

サッカー部⇒朝マラソンの並走、練習の補助



バスケットボール⇒授業補助



スポーツを支える立場になり、これからのスポーツを担う子供たちへスポーツの楽しさを伝える体験。

• **実践その4** トップアスリート講演会（全校生徒対象）

「トップアスリートを取り巻く環境と人と人とのつながり」川内優輝 氏



	<p>学生から社会人へ、そしてプロとなった今の競技に対する思い、環境や支えとなる人々への感謝の思いなど、生徒の心に残る講演会となった。これからの川内選手への活躍を願い、校歌でエールを送った。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック・パラリンピックへの関わりについては、学校活動のなかで動機づけをし、一生に一度の経験かもしれない国を挙げてのイベントに、関心を持たせるように心がけた。 • スポーツに「参加する・観る・支える」という観点から、スポーツで得られる感動や、生きがいとしてのとらえ方、スポーツを通じての健康の保持増進など、生徒それぞれに実感させることができた。 • あり方、生き方教育と結び付けたことで、スポーツは参加（PLAY）するだけでなく、様々な関わり方を通して人と人とがつながり、豊かな生き方へとつながることに気づかせることができた。 • これらの働きかけを年間を通じて行った結果、挨拶や返事、掃除をしっかりと行うなど自ら考え、前向きに行動できる生徒が増えた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度は、ハイパフォーマンススポーツセンター長の勝田隆氏の講演会を行い、競技者を支える立場や実際に同行したオリンピックでの現状をお話しいただいた。 • 今回の川内氏のトップアスリート講演会は、競技者の立場からの視点や、支えられる立場での目線とその環境への思いなどを生徒に伝えたいと企画した。 • 川内氏の講演会までに、様々な活動を通じてスポーツに参加し、周囲の支えに感謝できるような人づくりを心がけながら講演会につなげた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • この事業は体育的活動と結び付けるだけでなく、様々な教科でも取り扱うことが可能であり、実施する必要性を感じた。 • 学校の行事と各教科での取り扱いをバランスよく調整し、実践していくことが大切であると感じた。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア清掃、小学校との交流事業は今後継続していく予定である。 • また、オリンピック・パラリンピック終了後は、選手や大会の成功を支えた人々の実録や実話が多くあると思うので、それらをあり方・生き方教育で取り扱っていきたい。